



2024年 出陣 大型立俵武多

高さ約23m 重さ約19t

閻魔 えんま



2024年 制作
制作者／ねぶた表現師 忠汰

閻魔大王えんまだいおうは地獄の王であり、インド神話では「ヤマ」とも呼ばれる。「嘘をつけば…」という諺でも知られ、恐ろしいものの代名詞とされているが「子供の守り神」こどものまもりかみ地蔵菩薩じざうぼさつと同一神とされている。コロナ禍を経て、見えていたが見ようとしなかった現代社会の問題が益々表面化されてきた。世界各地で紛争が起り、様々な暴力、ハラスメント、虚偽、恫喝、差別、犯罪行為が世に溢れている。良くも悪くも個人が自由に意見を発信できる時代になったが、今、モラルが求められているのではないだろうか。場面は、浄玻璃じやうはりの鏡に生前の行いを映し、裁きを下す閻魔大王の姿。厳しい世でも、これからの未来を担う子供たちへ、道を示さなければという思いを込めて制作。



素戔嗚尊 すさのおのみこと

2023年 制作
制作者／鶴谷昭法

素戔嗚尊すさのおのみことは日本神話において、八岐大蛇を退治したことで有名な神である。母・伊弉冉尊のことを慕い泣いてばかりの子どもの様な一面がある一方、八岐大蛇を退治する英雄的な一面も持っており、多面性のある神として、厄除け・水難除け・病難除け・火難除け・五穀豊穰など、多くのご利益があるとされ、祀られている。



暫 しばらく

2021年 制作
制作者／鶴谷昭法

歌舞伎十八番の一つに数えられる演目「暫」。横暴な公卿の清原武衛が、自らに反対する善良な加茂次郎義綱らを捕え、処刑しようとしたその時、鎌倉権五郎影政が、「しばらく～」の一声で現れ、超人的な活躍で助け出し、公卿とその家来たちの悪事を暴き大見得を切る場面。江戸時代の初代市川團十郎以来、代々演じられてきた「荒事」を表現した。